

ドン・アルバロの列福式に関する属人区長の手紙

ドン・アルバロの列福式が行われる日程と場所が発表されたことを受けて、オプス・ディ属人区長は次の手紙を書きました。

2014/02/19

愛する皆さん、イエスが私の娘たちと息子たちをお守りくださいますように！

神への感謝のうちに伝えします。昨日、インドから帰ったばかりのときに、教皇フランシスコから、ドン・アルバロの列福式を、2014年9月27日、マドリードで行う、という最終確認を受け取りました。尊者ドン・アルバロの列福式への参加を望む人々の数が最も多のがこの場所であることから、そのようにお願ひしていました。ドン・アルバロは、1914年3月11日、スペインの首都マドリードで生まれましたが、更に、今年は、その生誕100周年にあたり、そのお祝いをマドリードで行なうことにもしています。他方、列福式は、2005年9月20日から有効になった法令に従って、列聖省長官アンジェロ・アマト枢機卿司式の下で行なわれます。その法令は、ベネディクト十六世が、教皇は列聖式だけを司式すると決定されたものです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/donarubaronolie-fu-shi-niguan-surushuren-qu-chang-noshou-zhi/> (2026/01/17)